

東京医科歯科大学
平成 24 年度 パソシグナリングバイオロジー ワークショップ
Patho-Signaling Biology Workshop

プログラム

日時；平成 24 年 4 月 24 日（火曜日）、13：30 - 17：15

会場；東京医科歯科大学 M&D タワー2 階、共用講義室 2

13:30-13:35 開会の辞

第 1 部 高感度質量分析装置による先端的プロテオミクスの展開

座長 難治疾患研究所 エピジェネティクス分野 石野 史敏 教授

13:35-14:00 (1) 難治疾患研究所 分子遺伝 中西 啓 特任准教授

「パソシグナリングバイオロジープロジェクト、先端的プロテオミクス技術の構築とその展開」

14:00-14:25 (2) 難治疾患研究所 神経病理学分野 岡澤 均 教授

「網羅的リン酸化タンパク解析による変性病態シグナル解明に向けて」

第 2 部 特別講演

座長 大学院医歯学総合研究科 病態代謝解析学分野 畑 裕 教授

14:25-15:15 (3) 九州大学生体防御医学研究所生体多階層システム研究センター

プロテオミクス分野 松本 雅記 准教授

「大規模ターゲットプロテオミクス」

15:15-15:30 休憩

第 3 部 分子間相互作用分析器によるシグナル探索

座長 難治疾患研究所 分子薬理学分野 野田 政樹 教授

15:30-15:55 (4) 難治疾患研究所 神経病理学分野 岡澤 均 教授

「ポリグルタミン病の分子標的治療の開発に向けて」

15:55-16:20 (5) 難治疾患研究所 分子遺伝分野 三木 義男 教授

「ゲノム安定化における中心体制御メカニズムの解明」

第 4 部 シグナル解析による難治疾患研究の展開

座長 難治疾患研究所 発生再生生物学分野 仁科 博史 教授

16:20-16:45 (6) 難治疾患研究所 生体情報薬理学 古川 哲史 教授

「心房細動の遺伝的リスク」

16:45-17:10 (7) 難治疾患研究所 病態細胞生物学分野 清水 重臣 教授

「Atg5 に依存しないオートファジーの分子機構とその生理機能」

17:10-17:15 閉会の辞 北嶋所長

主催：東京医科歯科大学

特別経費 異種バイオサイエンス技術の連携によるネオバイオロジー推進基盤創出事業

連絡先：難治疾患研究所 分子遺伝分野 三木 義男（内線 5825）

共催：難治疾患研究所 難治疾患共同研究拠点